

大日本武徳會

武徳會経歴

(1) 会の設立と支部の設置

明治28年（1895）4月17日・武徳会は設立発起人会・開催

【大日本武徳会設立趣旨及び規則】を議決

会長に渡辺千秋・副会長に壬生基修・を選出した。

【明治28年8月（1895）】大日本武徳会設立趣旨及規則

(2) 事業目的

- ① 平安神宮の神域に武徳殿を造営する事。
- ② 毎年一回武徳殿に於いて武徳祭を挙行し神霊を慰め奉ること。
- ③ 武徳祭には全国の武道家を会し武道を講演し以て武徳を永遠に伝うること。
- ④ 武徳殿の辺に各種の演武場を設立し常に教士を置き武芸を講習せしむること。
- ⑤ 現今実用に供すべからず武芸であつても保存の必要有るものは其の保存する。
- ⑥ 武徳殿の辺に武庫を建築し内外古今の武器を収集して広く衆に縦覧さすこと。
- ⑦ 内外古今の武芸及び武器の起源沿革を討究し武芸史武器史を編集刊行すること。
- ⑧ 武事に関する論説伝記佳話雑報を網羅して月一回・武徳誌を発行すること。
- ⑨ 都会の地には、本会の支部を設置する事。全国的に会員を募集するために。

時の政府高官からも賛同を得、文字どおり権威ある団体としての体裁が整えられた。

其の賛同者は、下記の13名です

伊藤博文	(内閣総理大臣)
山県有朋	(前枢密院議長) (第一軍司令官)
大山 巖	(陸軍大臣)
西郷従道	(海軍大臣)
松方正義	(大蔵大臣)
土方久光	(宮内大臣)
東久世通喜	(枢密院副議長)
榎本武揚	(農商務大臣)
芳川顕正	(司法大臣)
渡辺国武	(通信大臣)
野村 靖	(内務大臣)
川上操六	(陸軍参謀次長)
伊藤祐亭	(連合艦隊司令長官)